

目標達成計画

作成日：平成 23年 2月 14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	利用者様の安全を第一に考えるあまり、言葉や態度によって、行動の制限をしてしまい、その方の本来持っている力が十分に発揮できなかったり、前向きな姿勢や意欲をそいでしまっていることがある。	利用者様の思いや願い、暮らしの意向を今以上に引き出し、出来ることを継続し、ホーム内での役割や、生きがいにつながるを見つけ、行っていけるようにする。	利用者様の今現在の心身の状態を正確にアセスメントし、ADL IADL 趣味や楽しみにいたるまで支援が必要なことと支援できることを見極め、極力スピーチロックをかけない適切なケアを検討する。ケアの方向性を統一し、実践していく。	12ヶ月
2	19	御家族と、共に支えあう関係が十分に出来ているとはいえない。	家族やなじみの関係にある方たちと過ごす時間を大切にしたい。	現在の暮らしぶりを理解していただけるよう、少しでも長い時間をホームで一緒に過ごしていただくなど、ご家族と話し合いを持ち、それぞれの家族が負担にならない程度に取り組んでいく。	12ヶ月
3	40	食事を楽しみなものにし健康を維持するよう努力はしているが、献立に対して外部の方からご意見やアドバイスをいただくことはしていなかった。	年中行事を大切にして、季節の食材を利用した献立作りを工夫し、旬のものをおいしくいただけるようにする。	献立作りについて、今現在ホームで取り組んでいることのアピールをし、それに対しご家族や栄養士またはその他の外部の方から助言をいただく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。